

## ジェネリック医薬品に関するアンケート結果

### 1 調査の概要

- (1) 調査目的：本県におけるジェネリック医薬品（以下、GE）の使用促進の課題と今後の取り組みについて検討するため、県内の薬局及び医療機関（病院、診療所、歯科診療所）を対象にアンケートを実施した。
- (2) 実施主体：石川県
- (3) 調査時期：令和5年3月30日から5月8日まで
- (4) 調査対象：（薬局）555施設  
（医療機関）1,448施設（病院91施設、診療所885施設、歯科472施設）
- (5) 調査方法：アンケート用紙を郵送し、回答はインターネット、FAX、郵送で受け付けた。
- (6) 回答数：（薬局）165件(回収率29.6%)  
（医療機関）639件(回収率44.1%)

### 2 調査結果

#### 【薬局】

##### （問1）薬局の所在地

南加賀 小松市(13)、加賀市(11)、能美市(7)、川北町(1)  
石川中央 金沢市(73)、白山市(14)、かほく市(3)、野々市市(16)、津幡町(3)、内灘町(3)  
能登中部 七尾市(11)、羽咋市(2)、志賀町(0)、宝達志水町(0)、中能登町(2)  
能登北部 輪島市(1)、珠洲市(0)、穴水町(1)、能登町(4)

##### （問2）後発品の調剤数量割合

① 90%以上	44 (26.7%)
② 85%以上 90%未満	65 (39.4%)
③ 80%以上 85%未満	35 (21.2%)
④ 75%以上 80%未満	4 (2.4%)
⑤ 70%以上 75%未満	7 (4.2%)
⑥ 70%未満	10 (6.1%)

##### （問3）患者がGEに変更しなかった理由として、最も多いと思われるもの

① 普段から使い慣れている薬の方が良いから	41 (24.8%)
② 医師の処方どおりに薬をもらいたいため	37 (22.4%)
③ 品質が同じであるか不安だから	29 (17.6%)
④ 効果が同じであるか不安だから	18 (10.9%)

⑤ 以前、GE を使用し、副作用が出たから	18 (10.9%)
⑥ 家族や知人の意向	5 (3.0%)
⑦ 一部負担金があまり変わらない・無料	8 (4.8%)
⑧ その他	9 (5.5%)

{ 医師の変更不可指示  
出荷制限で在庫困難 等

(問4) 患者に GE を選択してもらうために行っている取り組み (自由記述)

① 来局時に患者の意向を尋ねる	149 (46.6%)
② 啓発用ポスターや説明板、製剤見本等を掲示	77 (24.1%)
③ 啓発用リーフレット等を用意	61 (19.1%)
④ 受付窓口に GE 希望カードやシールを用意	15 (4.7%)
⑤ GE を使用するための分割調剤を提案	4 (1.3%)
⑥ その他	14 (4.4%)

{ AG を採用  
時期を変えて GE を促す 等

(問5) GE を採用する際のポイント

① 供給が安定しているか	125 (22.5%)
② AG かどうか	77 (13.8%)
③ 取り扱いしやすさ (包装単位等)	64 (11.5%)
④ 適応症の同一性	53 (9.5%)
⑤ 他施設の採用状況	45 (8.1%)
⑥ 薬価、納入価	43 (7.7%)
⑦ 先発品との外観や使用感等の類似性	38 (6.8%)
⑧ 製薬企業	36 (6.5%)
⑨ DI (医薬品情報) の豊富さ	32 (5.8%)
⑩ 製品の付加価値 (味や識別性、保存性等)	27 (4.9%)
⑪ その他	16 (2.9%)

{ 会社の意向  
卸が供給可能か 等

(問6) 患者からの後発医薬品に関する質問事項

① 後発医薬品の有効性	111 (38.0%)
② 薬剤費、差額	110 (37.7%)
③ 後発医薬品の副作用	51 (17.5%)
④ 後発医薬品交付の理由	14 (4.8%)
⑤ その他	6 (2.1%)

{ 味、剤型、溶解性  
主成分 等

(問7) 後発医薬品の取扱をする上で遭遇した問題点

① メーカー、卸売業者の安定供給体制が不十分 (代替品の調達・分譲が増えた)	143 (41.4%)	
② 品目数が増え、在庫管理の負担が増えた	69 (20.0%)	
③ 患者から他社製品に変更したい旨の変更を求められた	31 (9.0%)	
④ 形状等が変わったとの苦情・問い合わせが増えた	24 (7.0%)	
⑤ メーカー、卸売業者の情報提供体制が不十分	22 (6.4%)	
⑥ 効果・品質・副作用の苦情が増えた	19 (5.5%)	
⑦ 調剤過誤 (ヒヤリハットを含む) が増えた	12 (3.5%)	
⑧ 特に問題ない	11 (3.2%)	
⑨ 体制加算にマイナスの影響があった	9 (2.6%)	
⑩ その他	5 (1.4%)	出荷調整等で入手困難 変更に伴う事務作業 等

(問8) 後発医薬品の使用促進政策全般に関するご意見等 (自由記述)

安定供給に関すること (14)、GEの信頼性に関すること (4)、普及啓発に関すること (3)、公費負担分のGE義務化に関すること (2)、薬価制度の問題点に関すること (2) 等

## 【医療機関】

### (問1) 医療機関の所在地

南加賀 小松市(60)、加賀市(32)、能美市(24)、川北町(4)

石川中央 金沢市(300)、白山市(51)、かほく市(15)、野々市市(32)、津幡町(17)、内灘町(9)

能登中部 七尾市(34)、羽咋市(13)、志賀町(9)、宝達志水町(2)、中能登町(0)

能登北部 輪島市(15)、珠洲市(3)、穴水町(6)、能登町(13)

### (問2) 病院・診療所の別

① 病院 51 (8.0%)

② 診療所 586 (92.0%)

### (問3) 標ぼう診療科 (主なもの3つまで選択)

① 内科	270	⑥ 耳鼻咽喉科	18	⑪ 脳神経外科	11
② 外科	57	⑦ 皮膚科	40	⑫ 歯科	169
③ 整形外科	66	⑧ 眼科	37	⑬ その他	77
④ 泌尿器科	10	⑨ 小児科	65		
⑤ 産婦人科	28	⑩ 精神科	25		

### (問4) 院内処方と院外処方のおよその比率

	院内	院外	
①	0 : 10	178	(28.3%)
②	1 : 9	85	(13.5%)
③	2 : 8	10	(1.6%)
④	3 : 7	11	(1.7%)
⑤	4 : 6	10	(1.6%)
⑥	5 : 5	7	(1.1%)
⑦	6 : 4	5	(0.8%)
⑧	7 : 3	9	(1.4%)
⑨	8 : 2	14	(2.2%)
⑩	9 : 1	83	(13.2%)
⑪	10 : 0	217	(34.5%)

(問5) 1年間の院外処方箋の発行枚数

① 12,000枚未満	263 (78.7%)
② 12,000～23,999枚 (月1,000枚以上)	44 (13.2%)
③ 24,000～35,999枚 (月2,000枚以上)	13 (3.9%)
④ 36,000～47,999枚 (月3,000枚以上)	5 (1.5%)
⑤ 48,000枚 (月4,000枚以上)	9 (2.7%)

※有効回答のみで集計

(問6) 院外処方箋発行における一般名処方実施状況

① 一般名処方を実施している	262 (78.0%)
② 今は実施していないが、実施を検討している	38 (11.3%)
③ 実施する予定はない	36 (10.7%)

※有効回答のみで集計

(問7) 院外処方箋発行におけるリフィル処方の実施状況

① リフィル処方を実施している	26 (7.7%)
② 今は実施していないが、実施を検討している	63 (18.8%)
③ 実施する予定はない	247 (73.5%)

※有効回答のみで集計

(問8) リフィル処方を実施した理由 (実施している施設のみ)

① 患者からの要望があったため	18 (90.0%)
② 分割調剤よりも手続きが簡便であるため	0 (0.0%)
③ 再診の効率化や、高度治療に専念するため	0 (0.0%)
④ その他	2 (10.0%)

※有効回答のみで集計

(問9) バイオ後続品 (バイオシミラー) の院内・院外の処方状況

① 院内処方のみあり	43 (7.0%)
② 院外処方のみあり	54 (8.8%)
③ 院内・院外処方の両方あり	60 (9.8%)
④ その他	456 (74.4%)

(問10) 後発医薬品を採用する際のポイント

① 供給が安定しているか	374 (18.8%)	
② 適応症の同一性	322 (17.5%)	
③ 薬価、納入価	255 (13.8%)	
④ 製品の付加価値(味や識別性、保存性等)	199 (10.8%)	
⑤ どの製薬企業の製品か	160 (8.7%)	
⑥ 施設での扱いやすさ(包装単位等)	131 (7.1%)	
⑦ DI(医薬品情報)の豊富さ	107 (5.8%)	
⑧ 先発品との見た目、使用感等の類似性	72 (3.9%)	
⑨ 臨床効果	56 (3.0%)	
⑩ 他施設の採用状況	46 (2.5%)	
⑪ その他	147 (8.0%)	副作用 添加物の種類 等

(問11) 後発医薬品の取扱をする上で遭遇した問題点

① メーカー、卸売業者の安定供給体制が不十分 (代替品の調達が増えた)	183 (38.4%)	
② 特に問題ない	81 (17.0%)	
③ メーカー、卸売業者の情報提供体制が不十分	80 (16.8%)	
④ 品目数が増え、在庫管理の負担が増えた	34 (7.1%)	
⑤ 効果・品質・副作用の苦情が増えた	29 (6.1%)	
⑥ 形状等が変わったとの苦情・問い合わせが増えた	26 (5.5%)	
⑦ 患者から他社製品に変更したい旨の申し出が増えた	18 (3.8%)	
⑧ 調剤過誤(ヒヤリハットを含む)が増えた	13 (2.7%)	
⑨ 体制加算にマイナスの影響があった	11 (2.3%)	
⑩ その他	1 (0.2%)	確認作業の負担増 マスタメンテが大変 等

(問12) 後発医薬品の使用促進政策全般に関するご意見等(自由記述)

安定供給に関すること(34)、GEの品質・薬効等の信頼性に関すること(13)、薬価改定制度の問題点に関すること(4)、製薬企業の問題に関すること(4)、政策に対する反対意見に関すること(3)等